

(以下バイノーラル)

んじゆるう……ちゅう、ちゅつ……ちゅぶつ、れろおお……っ。

ん？んちゅうっ……ちゅばつ、めええ……目を覚ましましたか、マスター？

全く、呼び付けるなり気絶するなんて、人間というのは随分良い御身分ですね？

ちゅう……れろ、じゆる……ちゅううっ！

ん、ちゅばつ……何を、しているかですか？

じゆるっ……ご覧の通り、マスターの男性器(だんせいき)をしゃぶらせて頂いてるんです……あーむうっ、ちゅううっ♪

れちゅう……れろおー、ちゅつちゅつ……んんう♪

ちゅばつ！

はあ……何故だ、どうしてと五月蠅い(うるさい)人間ですね、マスター？

足りない力の分は協力して貰うとお伝えしていたと思うんですけど？

ええ、こんな不自由な体では万に一つとはいえあの奉仕種族に遅れを取りかねませんから……こうして、んっ……れろお♪

ぐちゅぶ……ちゅうっ！……んんうっ♪

マスターの精気を、足りない分の穴埋めにさせて頂こうとしているんです♪

はあー……んっ、じゆるううううっ♪

れろれろ、ちゅう……じゆるる、れろおっ♪

ちゅばつ……んふ、大きくなってきました。

これなら、それなりにたっぷり精気が取れそうですね……めえええ♪

ん？……むう、こんなにゴは硬くしてるのに、まだあのシヨゴスとか言うのに襲われるのを怖がっているんですか？

《しゅり……》

(イチモツから口を放し、マスターに近づく音)

マスター……安心して下さい。

アレは、私の一撃を受けて随分警戒していました……それにここは、お母様の力の強い場です。つまり、私の力が振るい易い場所です。

知能の低いあんな奴でも、ここに押し入って襲ってくるような真似はしないですよ。

仮に押し入っても……マスターがしっかり精気をこの男性器から吐き出して、私に食べさせてくれれば……しっかりと返り討ちにしてみせますから。

ですから……安心して、いっぱい……びゅーびゅーとマスターの白いドロドロの精気を吐き出して下さい♪

本当は、マスターを頭から食べてしまつて魔力にしてもいいのですけれど……。

あのシヨゴスとかいうのより、私が優秀なのだとちゃんと見ていて貰わないといけないですからね！なので、マスターの精気で我慢してあげるんですから……ちゃんと出してくれないと、マスターの体……食べちゃいますよ？……ふふ♪

では、そういうですから。

しっかり気持ちよくなつて、私の口が溢れるぐらい……たっぷり、べつとり、マスターのねっとりミル

クを注いで下さいね？

多ければ多い程、私の力になりますから……くす」

んっ……あ、むう……ちゅう、れちゅう……ずずっ、ちゅう……んじゅるう、じゅ……じゅ、れろおっ」

ちゅぶっ、ふはっ……ふふ、安心されたからですか？

それとも、食べられたくないからですかね？

マスターの男性器、さつきより……舌で触れるとびくりと反応が良くなったです」くす……くすくす」

ん、れ、ろおお……ちゅううつつ」

それで、いいんですよ？

ん、ちゅう……マスターは、たっぷりたっぷり……私に注がなきゃダメなんですから……ちゅっ、あはっ」

恨むなら、んっ……じゅる、れろれろ……ちゅうっ」

こんな、人のような体で私を呼んだ事を恨んで下さい……あーむっ、じゅるっ、れろ、ちゅう……じゅるるるうう、れろ、ちゅううつつ」

じゅる……ん、ふ」

にちゃあつて液、出てきました……マスターの、ミルクの上澄みですね……んっ、ちゅうう……じゅるっ」

ぺろっ……先走ったものでも、体に染み込むような感覚があります」

この味なら、んっ……あむうっ、ちゅっ……じゅるう、ちゅばっ、れろおおっ」

……マスターのねっとりミルク、美味しく頂けそうです、あはっ」

あむっ、ちゅう、れろおお……下から掬いあげるみたいに舐められるのがお好みですか？

ふふ、構いませんよ……マスターの、この子種を作る所も。

はあー……むっ、もー……れろ、ちゅば……れろ、ちゅう……もー、じゅる、じゅるる……れろおっ」

マスターの……ミルクを上らせるこの幹も。

んれろおー……ちゅっ、ちゅっ、ちゅううう……んっ、れろ、じゅるっ、れろおおっ」

はあー……」

そして、マスターの……雌の秘部に狙いを定めるための……この膨らんだ先も」

はむっ……じゅるるるう、れちゅう、じゅるっ、ちゅう……じゅずずっ、ちゅうう、ちゅううううっ、じゅばっ」

ふうう……あつは」口から、マスターの男性器まで糸引きました……ふふふ」

ぜーんぶ、たっぷり舐めて上げますから……」

んっ、じゅるうーっ、ちゅう、れろおおーっ、ずずっ、ちゅう……ずず、ちゅううっ、ぴちやつ」

ふう、んんうっ」じゅるっ、ちゅう……ずずっ、ちゅううううつつ」

……あつ、マスターのドクドクしてるです」

舌先が、マスターの幹の裏がそうなってるの……れろおっ、しっかり教えてくれます……あはっ」私の舌、さらさらも、つるつるも……具合よく変えられますから。

それも気持ちよさに繋がってるんですかね？ふふ……ねえ、どうなんです？ましたあー」

じゅる、れろお…………くちゅ、くちゅっ、じゅるっ…………ちゅっ、ちゅっ♪
んっ…………ドクドク、溜まつてきてるです…………じゅずずっ♪
いいですよ…………このまま、私の口…………出しちゃって下さぐねっ。
あむっ、ちゅう、れちゅう…………ずずっ、ちゅず、ずず…………ぢゅる、ぢゅ
ちゅううううううううっ！…………！

《どくっ…………びゅるるうっ！》

(射精音)

んっ、んぶっ！？んんう…………んっ…………！
ん…………ちゅう…………じゅる、じゅるるるう…………くちゅ、ちゅう…………ずずっ。
ちゅうう…………ちゅぶんっ！

ん…………ふう、めへええ♪

まふはー(マスター)…………わひやります？

こへ、まふはーのだしてくれたみるく…………口に、こんふぁに♪

んあ…………くちゅ、くちゅ、舌にも、くひの中にほ…………べつとり、からんへまふよっ…………あは♪
んっ…………こい、いいまりよくの…………精気でふ…………くちゅぐちゅくちゅぐちゅ…………んっ！ごくんっ
…………！

っ…………はあ…………んうっ♪

…………飲んじやいました、マスターのビクビク、ドロドロ…………ねっとり精気ミルク♪

ぺろっ…………お母様のミルクには負けますけど、中々美味しい…………ミルクでしたよ、ますたあー♪
はああ…………♪

くす…………人間は…………うるとき御馳走様でした、と言うんですよね、確か？

ふふ…………でも、まだ…………。

もつと、私精気欲しいんです…………♪

これでも十分アレには負けなと思いますけど、念には念をという言葉が…………人間にはあります
もんね？

《しゅる…………とさっ》

(服を脱ぎ、裸になる音)

…………マスター？口は、満足しましたから…………次は、私のココを。

雌としての場所に、マスターの精気を注いで下さい♪

マスターが助かるためでもあるんですから、嫌だなんて…………言わないで下さいよ？
くす…………ふふ、めええええ♪